

日本赤十字社の国際活動に係る研修一覧

(令和6年3月現在)

	名称	場所	主な対象職種	主催	主な参加資格	内容等
1	保健医療ERU研修	オンライン 兵庫県	全職種	本社 国際医療救援拠点病院	・要員登録研修受講前の必須研修全てを修了した者 ・TOEIC730点以上の英語力が望ましい	・保健医療ERU(診療所ERU及び病院ERU)の運用に必要な実践的知識、技術(ERU概論及びERU資機材の取り扱い等)を習得する。 (※ERU要員の登録研修となります)※次回は令和7年度に開催。
2	国際救援・開発協力要員研修Ⅱ「IMPACT」	神奈川県または オンライン	全職種	本社	・国際救援・開発協力要員研修Ⅰを修了した者 ・安全管理研修Ⅰを修了した者 ・TOEIC730点以上の英語力を有する者	・国際救援・開発協力要員として必要な実践的知識、技術を習得する。 (※海外派遣要員(ERUを除く)の登録研修となります)
3	病院ERU展開訓練	兵庫県	全職種	本社 国際医療救援拠点病院	・保健医療ERU研修(旧基礎保健ERU研修)を受講し登録されている国際救援・開発協力要員	実際に病院ERUの設置、運営、撤去を行い、病院ERU発動・展開にかかる現状を認識し、課題を把握し、改善に向けた行動を具体化する。 ※5年に1度の開催
4	安全管理研修Ⅱ	東京都	全職種	本社	・保健医療ERU研修または国際救援・開発協力要員研修Ⅱ(IMPACT)を修了した者(受講予定の者を含む)	・危機管理、安全確保に対する知識、能力(安全確保の方法、脅威の見極め、その対応、英語による無線交信等)を習得し、危機管理意識を養う。 (※海外派遣前の全ての要員の必須研修となります)
5	安全管理ワークショップ	オンライン	全職種	本社	・原則平成29年度以前に安全管理研修Ⅱ(旧・危機管理研修)を修了し、これまでに海外派遣を複数回経験している者	・国際赤十字の安全管理の特徴や取り組み、動向をアップデートするとともに海外派遣経験者がこれまでフィールドで蓄積してきた安全管理事例に関する経験や教訓を互いに共有し合う。
6	ヘルステクニカルトレーニング	大阪府	医療職	大阪赤十字病院	・保健医療ERU研修または国際救援・開発協力要員研修Ⅱ(IMPACT)を修了した者 ・派遣経験のある者が望ましい	・災害時の外科系疾患の治療・看護、輸血検査、レントゲン撮影等に必要な知識、技術を実技演習を通して習得する。また、病院ERUの医療機器に関する知識、技術を習得する。
7	災害外傷研修※隔年での開催	愛知県	医療職	名古屋第二病院	・保健医療ERU研修または国際救援・開発協力要員研修Ⅱ(IMPACT)を修了した者 ・国際救援・開発協力要員登録は済んでいないが、今後登録を目指し災害外傷医療に関心のある者	・災害時に必要な外科・整形・産科などの治療・看護の基礎的な知識と技術を習得する。
8	熱帯医学研修	和歌山県	全職種	日本赤十字社和歌山医療センター	・保健医療ERU研修または国際救援・開発協力要員研修Ⅱ(IMPACT)を修了した者	・熱帯医学の基礎知識、熱帯地域特有(マラリア等)の疾病の診断・予防方法等を理解するとともに、予防接種計画立案能力を習得する。※次回は令和7年度に開催。
9	プロジェクト・サイクル・マネジメント(PCM)手法研修(計画・立案コース/モニタリング・評価コース)	東京都	全職種	日本赤十字社医療センター	・国際救援・開発協力要員研修Ⅱ(IMPACT)を修了した者	・援助団体等が開発援助プロジェクトの中で使用する事業計画の形成立案方法、評価モニタリング方法等を習得する。
10	集中英語研修	愛知県	全職種	名古屋第二病院	・国際活動に従事する意思があり、TOEIC550～730点未満の者 ・職務経験3年以上	・海外での業務に支障のない会話力および書類読解能力、プレゼンテーション能力、履歴書や報告書などの文書作成能力などの習得や、TOEIC730点以上の取得を目指す。
11	コミュニティ・ヘルス研修会	東京都	全職種	日本赤十字社医療センター 名古屋第二病院	・コミュニティ・ヘルス、関連事業に興味関心のある者、関連事業へ派遣経験のある者等	・コミュニティヘルスの基礎知識、関連事業のケーススタディなど、知識の取得を目指す。
12	PSS研修	東京都	全職種	日本赤十字社医療センター	・PSS(こころのケア)での派遣に興味関心のある者で、保健医療ERU研修を修了した者	・Health ERUIにおけるPSS活動の基礎知識、PFA(Psychological First Aid)の基礎知識の取得を目指す。※令和6年度はPFAワークショップを開催。
13	メディカルロジスティクス基礎研修 ※旧ヘルスロジ研修	東京都	看護職 薬剤師 事務職	日本赤十字社医療センター	・保健医療ERU研修を修了した要員 ・特にERUIにおいて看護職、薬剤師、アドミニ・ロジ要員として活動を目指す者。	ERUIにおいて、医療物資全般の調達・供給・管理を担うマドログ業務を含めたヘルスロジ業務を円滑に行うために、医薬品の品質確保と適正使用を含めた薬剤業務を担う要員(薬剤師)、通関や輸送、調達などを管理する要員(ロジ)と医療物資を扱う看護師が協働して相互に補充し合える人材育成と基礎的な能力強化を目指す。
14	保健医療ERU管理要員基礎研修	大阪府	事務職	大阪赤十字病院・本社	・当該年度開催の保健医療ERU研修を管理要員として受講予定の者 ・基礎保健ERU研修または保健医療ERU研修を修了し、日赤ERUの管理要員として将来派遣される可能性がある者(日赤ERUでの派遣経験者を除く)	・保健医療ERUの管理要員の役割と求められる資質を理解し、活動現場での基本的な業務を理解する。※次回は令和7年度に開催。
15	Health Emergencies in Large Populations (H.E.L.P.)※隔年での開催。	オンライン	参加資格者に該当する方 (職種は問わない)	日赤看護大学、ICRC、 日本赤十字社	・緊急時の各種支援活動に携わった経験のある医師、看護師、栄養士等の保健医療関係者や公衆衛生及び疫学の学識者、或いは保健衛生に関する政府及び自治体関係者	ICRCや日本赤十字社の救援活動の経験に基づく演習を通じて、緊急時の人道的介入、特に初期計画に必要な環境衛生管理の視点や初期評価に役立つ疫学的手法、感染症、緊急時の食糧と栄養、保健システムなど基盤となる知識を学ぶ。また、人道的介入の基盤となる国際人道法の要点を学び、医療従事者の責任、人権と健康問題等、事例を通じて理解を深める。

※上記になく研修予定一覧に掲載のあるものについては、別途開催要項を確認のこと。

※eラーニングについては、「日本赤十字社国際救援・開発協力国際要員になるための研修の手引き」参照